

生育不良が肥料のバランスが悪いことと由来する場合、土壌診断をすると特定の肥料の過剰や不足を数値で見ることができ、改善に向けて具体的に取

④土壌診断をする

真夏なら太陽熱を利用した消毒ができます。殺菌したい場所に石灰窒素を入れて耕し、水をたっぷり撒いて高畝にし透明マルチを張ります。その上からビニールでトンネルを作ります。薬剤を使わない殺菌方法ですが、梅雨明けから8月末まで(晴天で最高気温30℃以上の日)が20日以上そのままだと必要があります。なお、被覆した面積が狭いと乾きやすくなって効果が出にくいので、できるだけ広く処理した方が良いでしょう。その後、良質の堆肥や肥料を入れてから作付けすることになります。が、深く起すしてしまうと消毒しきれない下層の土と混ざってしまうので、浅く耕すようにするのがコツです。

主な野菜の分類

アブラナ科	ハクサイ キャベツ ブロッコリー カリフラワー コールラビ ケール カブ 大根 小松菜 菜花 チンゲンサイ 野沢菜 水菜 ルッコラ
アオイ科	オクラ オカノリ モロヘイヤ
イネ科	トウモロコシ マコモタケ
ウコギ科	ウド
ウリ科	キュウリ スイカ カボチャ トウガン ユウガオ ゴーヤ スズキーニ メロン 漬け瓜
キク科	レタス ゴボウ 春菊 ヤーコン ハンダマ(水前寺菜・金時草) 食用菊 アーティチョーク チコリ
ゴマ科	ゴマ
サトイモ科	サトイモ
ショウガ科	ショウガ ミョウガ
シソ科	しそ エゴマ バジル
セリ科	ニンジン パセリ ミツバ セロリ アシタバ
タデ科	ルバーブ
ナス科	トマト ナス ピーマン ジャガイモ パプリカ トウガラシ シシトウ ガーデンハックルベリー 食用ホオズキ
バラ科	イチゴ
ヒガンバナ科	ネギ タマネギ ニラ ニンニク ラッキョウ アサツキ ワケギ
ヒユ科	ホウレンソウ ビート
ヒルガオ科	サツマイモ 空芯菜(エンサイ)
マメ科	サヤインゲン サヤエンドウ グリーンピース 枝豆 シカクマメ
ヤマノイモ科	ナガイモ ジネンジョ



例えば、夏に栽培するトマト、ナス、ピーマン、ジャガイモはすべてナス科です。冬に便利なハクサイ、ダイコン、キャベツはすべてアブラナ科です。意外と輪作するのは難しいので、書き出して菜園計画を立てましょう。

掘り出し物市開催中!

グリーンファーム中央店では12月末まで「掘り出し物市」を開催しています。農業・園芸・生活用品など、あんなものやこんなものが激安価格で販売! 数量限定の早い者勝ち! ぜひグリーンファーム中央店にお越しください!



ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177

◎よだくぼ南部店 ☎85-2400

◎東部店 ☎62-0665

◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園

ほうさくClub!

第245回
今月は

「連作障害」

同じ作物を何度も作っていると良くないことが起きる?「連作障害」は家庭菜園の初心者でも聞いたことがある言葉かもしれません。連作障害とは同じ場所に同じ作物を作り続けていると生育が不良になることです。今回は連作障害についてお話しします。



1 なぜ連作が
いけないのか

土の中にはたくさんの微生物がいます。微生物の中には、窒素を植物が使える形の窒素に変えるものなど植物にとって有益なものがあるので、根は微生物をおびき寄せており、根の近くに微生物が集中しています。植物によっておびき寄せやすい微生物があるので、同じ作物ばかり栽培していると微生物の種類に偏りが出ます。これが植物にとつて有益な微生物ばかりならいいのですが、その作物にとりつきたい病原菌もおびき寄せてしまいます。多様な微生物が存在していればいいのですが、種類に偏りがある状態ではバランスが崩れ、単一の微生物の密度が高くなることがあります。これが病原菌だらけの場合、発病してしまいます。これが連作障害の一番の原因です。主にアブラナ科の根こぶ病、ナス科の青枯病、マメ科の立枯病などがあります。これらの土壌病害は発病後、農薬で抑えるのが難しいです。

そのほかにも、センチュウによるもの、肥料のバランスが悪くなることによるもの、植物が放出する物質(アレロパシ)によるものなど、様々な要因があると言われています。

2 対策

①輪作

連作障害の予防として行います。今作付けしている作物と異なる「科」の作物(※)に作付けすることを繰り返すことです。(※11ページ「主な野菜の分類」を確認ください)

②土づくりを見直す

微生物の偏りが原因なら、いろんな微生物を増やせば土壌病は発生しにくくなるはずです。有機質肥料や堆肥は微生物を増やすことができますが、それぞれ増やしやすいく微生物が存在するので、いつも使っている牛ふん堆肥だけでなく、多種類の有機質肥料や腐葉土などの堆肥も入れて意識的な土づくりをしましょう。有機質肥料には鶏糞、油粕、魚粕などがあります。

③土壌消毒をする

深刻な土壌病害やセンチュウ害が発生している場合や施設栽培で連作せざるを得ない場合などに用います。土壌中の良い菌も悪い菌も一度皆殺しにして、再度土づくりをやり直すイメージです。土壌殺菌剤を使う場合は正しい使い方